

希 望

（題字の「希望」は校歌の一部から抜粋しました）

一人一人の夢や希望を大切に

学校長 高嶋 利次郎



今年度はこの度の人事異動により、十三名の教職員が着任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度産業科八名、農業科八名、生活家庭科八名、計二十四名の新一年生が入学し、在校生は七十四名になりました。それぞれに好きなことや得意なこと、将来の夢や希望は異なりますが、共通していることは、社会に出て働き自立することが間近に求められているということです。

高等養護学校の時期に獲得すべき課題のうち、一人一人の人生を幸せにしたり社会自立・社会参加しやすくしたりする課題が、「発達課題」です。

生徒にとっては、数年からもつと長い期間をかけて獲得していくこともありますが、避けては通れないものです。

発達課題を達成するためには、生徒一人一人が身体的に成熟すること、周囲からの適切な期待と指導・支援、一人一人がどのようなことが大切であるかと判断する基準や自分自身への要求レベルをどの程度とするかがポイントになります。

第一に生徒自身が自分に自信をもち、自分の身体にも誇りをもてるのが大切です。自分とはどんな身体をもっているのか自覚と自信、そして寛容さをもつことです。

第二に同じ年齢の友人の良さに気付き、互いに大切に思い礼儀正しく接したり、話したりできるようになることです。これは、男性に対しても女性に対しても必要です。

第三に親からの精神的な自立です。

第四に社会において支援を受けながらも働き生活していけるという自信をもてることです。

人の育ちを語るとき、ライフステージの様々な段階や場面で、人は一定の

平成 26 年 4 月 25 日発行
学校だより
第 26 号
北海道今金高等養護学校
〒049-4304
瀬棚郡今金町字今金 454-1
TEL 0137-82-3121
FAX 0137-82-3092

役割を求められます。学校生活の中でも、「先輩や後輩として」、「高校生として」、「生徒会長や副会長として」など、様々な役割を發揮が求められる場面があります。社会人になれば、「社会人として」、「職業人として」など、それぞれの段階ごとに求められる役割は、変わっていきます。

役割を意識し、役割を果たそうと自覚的な努力を重ねることにより、生徒は素晴らしい変容を遂げてくれます。「随分、成長したなあ！」「立派になったなあ。」などと感謝の声を上げる瞬間です。

このような発達課題を達成させるためには、「振り返り」がとても大切です。「振り返り」が積み上がるように声かけをしていくと、「経験に学び、よりよい判断ができる生徒」になります。この対極には、「何回経験しても、学ぶことが少ない」言い換えると、思考が固く場に応じた行動が難しい姿があります。

「振り返り」は、一人ひとりの生徒への肯定的な眼差しや見守り、励まし、寛容な対応があつてこそ成り立つものです。また、「振り返り」によつて、一人ひとりの「らしさ」が形成されていきます。

生徒の内面を理解した「ほめる」、「励ます」、「見守る」、「認める」など前向きな接し方は、物事を前向きにかつ適切に考えられる生徒に育てるばかりでなく、その生徒ならではのよさ（個性）を伸ばすことにもつながります。そして、本校の校訓である「自ら行動し最後まで努力する人」を育てることになります。

今年度も、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動の推進に御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

入学式が行われました

4月9日（水）本校体育館において、平成26年度入学式が挙行されました。今年度は、産業科8名、農業科8名、生活家庭科8名の合計24名の新入生が入学許可を受けました。新入生代表の挨拶では、「楽しい時もあればくじけそうな時もあると思いますが、あきらめず頑張っていきたいと思います。」と決意を述べました。これからの学校生活での活躍を期待したいと思います。



新入生代表



緊張している
新入生

